

努力目標Ⅰ【教職員の基本的資質】 学校関係者評価

評価	すごく当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全然当てはまらない
人数	8	2		

- 全体的に、保護者・児童の評価が高く、職員の評価も前年度より高くなっている。教職員一人一人が向上心と問題意識をもたれて実践されている成果だと思う。
- 本年度は、数多く授業参観に出席することができた。少人数の児童数の環境の中で一人一人を大切に指導、対応をされている姿を拝見することができた。学年によっては全教科県平均を上回っているとのことで、先生方の指導の賜だと感じた。
- どの学年も先生方には丁寧な授業をされていると思う。折りに触れて家庭教育にも力を注いでほしい。
- 今の先生方の行動、学校内での取組等、心から敬意を表します。完璧すぎるとどうかなとも思う。
- 先生方、児童の評価に比べて保護者の評価が低い。コロナ禍で私自身も学校の中に入れる機会が少ないので本来ならば評価が難しい。少ない経験の中で思うことは、地域の人たちに対して先生方のあいさつがあまりない。子どもたちのお手本となる態度を示してほしいと思う。コロナ対策が続き先生方のやることも増え、本当に大変だったと思う。子どもたちに目を向ける心のゆとりのためにも、もっと外部からの協力を仰ぐ開かれた学校づくりもこれからの課題だと思う。
- 職員間の雰囲気も良く、先生方は一人一人の児童に合わせた対応をされていると思う。コロナ禍で家庭や地域との関係がこれまでのようにいかない部分はあったと思うが、今できることを考えて実践されていると思う。
- 学校組織の一員として協力し合って組織的に学校の課題に対応している。
- 先生と児童の評価はいいと思う。保護者については普段の学校の様子が見えづらいので評価自体が難しいと思う。

努力目標Ⅱ【「関わり合う力」の育成】学校関係者評価

評価	すごく当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全然当てはまらない
人数	4	5	1	

- 人権教育・道徳教育の推進がなされ、個人差・学年差はあるものの全体的に向上している様子が伺える。児童自身の評価も良好で向上心の表れだと思う。
- 学校支援ボランティア・民生児童委員、交通安全指導員等との関係による大畑学（郷土教育）、郷土愛の育成が素晴らしいと思う。児童全員が自分のことだけでなく他の人への思いやりの心をもっている人間に育つような育成をお願いしたい。
- 「保護者に伝わりやすい表現の選択」とあった。授業にボランティアに入るときに子どもたちが聞く質問の項目をもらったが、あまりにもアバウトで何を知りたいのか何を答えたらいいのか分からない質問があった。「昔の学校にはどのようなものがありましたか。」→今あるものか、今ないものか、何を求めているのか回答に困った。もっと答えやすい質問の仕方をしてほしい。児童は校内ではきちんとあいさつができるが、校外では恥ずかしいのかあまりあいさつをしない。
- 校長先生の掲示板には、たくさんの「ありがとう」が溢れていて、読んでみると温かい気持ちになる。一人一人が大切にされている意識をもち、いいところを認め合うというにつながっていると思う。
- 評価結果からよくできていることが読み取れる。
- 先生、家庭において基本的生活習慣の育成に努めていただいている。児童のお朝のあいさつは素晴らしい。言葉遣いも良くなっている。
- 基本的な生活習慣の育成はできていると思う。ただ、周りと関わる事項が少し難しいと思う。

努力目標Ⅲ【「自ら学ぶ力」の育成】 学校関係者評価

評価	すごく当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全然当てはまらない
人数	3	6	1	

- 孫ではあるが、学校から帰ってくると当日習ったことを毎日復習や予習をしている。学校で習う基礎学力を身に付けることが大切だと思う。そのためには、家庭学習は必要だと思う。
- 個人差はあると思うが、どの子どもも活発に授業に参加していると思う。
- 教職員・保護者・児童の評価から、基礎的・基本的な内容を身に付けるために努力をしている様子が伺える。また、個に応じた指導がなされ、児童も主体的に学習をし読書活動もなされていると思う。
- 保護者評価で、「我が子は授業参観の時に進んで発表したり、話し合ったりしている。」の評価がとても低い。ボランティアで入って感じたことは、お礼の言葉などは練習したのかみんな同じ内容で発言をし、自分自身の感想や意見がとても少ないのに驚いた。いろいろ聞いたりしたことをどう感じ思ったのかをもっと言えるようになってほしい。そうでないと、授業を自分のものとして深掘りできないと思う。聞いて書きとって終わりではもったいない。
- 説明中心の授業から対話型にチェンジされ、学力が伸びてきていること。また、三中の先生による教科担任制の授業体験も計画中とのことで、大畑校区だからできる良い取組だと思う。昨年度同様、読書に関する課題がみられる。県には肥後っ子いきいきアドバイザーという方もおられるようなので必要に応じて活用してもいいと思う。また、学年に応じた本の内容を理解するのが難しい児童もいると思うので、一人一人に応じた本を選び読書の楽しさを味わえればいいと思う。
- 協議会の中でも話題になった読書については、今後も継続して取組が必要だと思う。自分自身、読書は苦手だが時間があるときは読書に専念したいと思う。
- 家庭学習の充実や読書活動の推進は、家庭（保護者）との関係が不可欠だと思う。PTA活動の充実に期待している。（リモート、ウェブ研修）
- 自発的な学ぶ姿勢はできていると思う。家庭での学習は難しいと思う。

努力目標Ⅳ【「やりぬく力」の育成】 学校関係者価

評価	すごく当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全然当てはまらない
人数	8	2		

- アオバズク（学習発表会）を参観した。いろいろな発表で学んだこと見学等、体験活動をみんなで協力して発表する姿に感動した。
- 保健指導がなされ、体力の向上に努力している様子が伺える。職員・児童の評価が高く、向上心の表れだと思う。保護者の評価には、もっと頑張ってもらいたい親心があるように思う。
- 児童はとても頑張っている評価、保護者からは低い評価、評価するのは難しい。勉強より心身の健やかさを育むためのやりぬく力は大人になるために重要なものである。取り組みやすく目に見える目標を達成する喜びをもてることはとてもよいと思う。食事のマナーは、家庭で教えられていない家庭も多いので、社会人として恥ずかしくないマナーを身に付けてほしい。家庭でできていないことまで学校で教えないといけないので先生方も本当に大変だと思う。
- 項目⑮「心のたくましさ」に関する保護者の評価が低いようだが、家では「ホッ」として甘えがでてしまうのかとも思った。学校で懸命に頑張っている子どもの姿を感じる。
- 体力向上における取組は、表彰されており良いと思います。
- コロナ禍や社会体育化（部活）等、児童のスポーツ離れが心配されるが、よく取り組んでおられると思う。
- 児童の意識が高いと思った。家庭での運動が今後の課題だと思う。

【気付き・感想】 学校関係者評価

- 保小中一貫を望むのは、英語を1年生でも学べないかと思うからだ。(保育園では4・5歳の園児は学んでいるので忘れないか危惧する。) 中学校の先生やボランティア活用などで実現していただきたい。
- 一昨年1月から始まった新型コロナウイルス感染症のため、いろいろな活動が制限され学校行事・教育課程等に大きな影響があったと思う。そのような中、先生方が児童一人一人に目配り・気配りされ、丁寧な指導が行われた成果だと思う。感謝したい。
- 具体的な方策・対策はわかりやすくとてもいいと思う。抽象的な目標よりずっと理解しやすく取り組みやすい。小さな目標を一つ一つクリアしていくことで着実なゴールを目指す取組は素晴らしいと思った。
- P T A役員あいさつ運動にボランティアさん(民生児童委員)を依頼しているが、来年度はP T A役員の参加が増え、一緒にできればいいと思った。
- 書写指導ではボランティアから意欲的に学ぼうとする姿勢が印象的だった。動画ではわからない細かい部分等、力の入れ方抜き方等が分かったようだった。ボランティアも喜んでおられた。
- 先生方の資質、情熱、子どもに対する思いは素晴らしいと思う。コロナ禍で保護者とのコミュニケーションは大丈夫でしたか。心配である。大畑校区の地域の特性を生かし保護者と、の関係を密にすることも大切な気がする。
- 一度も授業参観に行けずに申し訳ないと思う。一年間子どもを指導していただいて感謝している。今後も引き続きこのような取組を継続してほしい。